

研究課題名	<b><i>Mycobacterium abscessus</i></b> 院内感染疑い事例に対する分子疫学的アプローチと臨床背景の統合解析
本研究の目的	<b><i>Mycobacterium abscessus</i></b> による院内感染疑い事例に対して、該当する菌株と同種の対照群とした菌株及び環境由来の菌株を次世代シーケンサー（NGS）などによる高精度な分子疫学的解析を行います。その結果をもとに、院内感染かどうかの正確な判定及び感染源や感染ルート の推定を行い、今後の院内感染の拡大抑制や再発防止に役立てることを目的としています。
研究期間	倫理審査委員会承認後 ～ 2028 年 3 月 31 日
調査データ該当期間	当該病棟における患者の入院日 ～ 2025 年 3 月 31 日
研究の方法	<p>●対象</p> <p>上記該当期間に国立病院機構大牟田病院で <b><i>Mycobacterium abscessus</i></b> による院内感染が疑われた事例に対して、該当する菌株と同種の対照群とした菌株及び環境由来の菌株を対象とする。</p> <p>●用いる試料・情報</p> <p>真の院内感染か判断するための疫学情報として、対象の菌株に付随する情報を診療録情報より、年齢、性別、身長、体重、既往歴、生活歴、治療歴、現病歴、入院期間、血液検査結果（CBC、生化学、凝固検査、感染症検査）、画像検査、対象となった菌株に伴う検査（分離日、分離場所及び分離部位、塗抹・培養検査、菌株同定検査、薬剤感受性検査）の情報を得ます。</p> <p>今回のデータ収集において、対象となる事を望まない場合には対象から外させていただきますので、問い合わせ研究責任者までお申し出ください。但し、その時点で既に情報が匿名化されている場合には対象から外すことはできません。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことはありません。また、当該研究の終了後、研究で得られた情報を日本臨床検査医学会やあるいは公的な医療機関に提供されることもあります。</p>
外部への 試料・情報の提供	<p>情報は、個人を識別できないよう匿名化します。</p> <p>当院で取得したデータは匿名化した上で、パスワードロックしたファイルに保存致します。分子疫学解析については、国際医療福祉大学や自治医科大学に菌株を郵送する場合は匿名化した当院での菌株を識別する番号のみを付与し解析を依頼致します。NGS による解析が当院で必要な場合は、国立遺伝学研究所のスーパーコンピュータを共同利用で使用し、解析を行う予定です。</p>

研究組織	研究代表者		
	国立病院機構大牟田病院	呼吸器内科	片平雄之
	研究分担者・協力者		
	国立病院機構大牟田病院	呼吸器内科 臨床研究部長	若松謙太郎
	国立病院機構大牟田病院	呼吸器内科	出水みいる
	国立病院機構大牟田病院	呼吸器内科	福山聡
	国立病院機構大牟田病院	呼吸器内科	野田直孝
	国立病院機構大牟田病院	呼吸器内科	龍田実代子
	国立病院機構大牟田病院	呼吸器内科	合瀬瑞子
	国立病院機構大牟田病院	呼吸器内科	井上滋智
	国立病院機構大牟田病院	脳神経内科	荒畑創
	国立病院機構大牟田病院	内科	赤崎卓
	国立病院機構大牟田病院	放射線科	熊副洋幸
	国立病院機構大牟田病院	放射線科	宮本晃多
	国立病院機構大牟田病院	臨床研究部	清谷るりこ
	国立病院機構大牟田病院	臨床研究部	福井いづみ
	国立病院機構大牟田病院	臨床検査科	竹山朋希
	国立病院機構大牟田病院	臨床検査科	香月耕多
	国際医療福祉大学大学院	保健医療学部専攻臨床検査学分野	永沢善三
	福岡山王病院	呼吸器内科	永田忍彦
	自治医科大学医学部	感染・免疫講座細菌学部門	崔龍洙
	自治医科大学医学部	感染・免疫講座細菌学部門	渡邊真弥
	国立病院機構大牟田病院	呼吸器内科	川崎雅之
お問い合わせ先	電 話：0944-58-1122 (代表)		
	研究責任者：片平 雄之 (呼吸器内科)		
	研究担当者：若松 謙太郎 (呼吸器内科 臨床研究部長)		